

JAMLING TENZING NORGAY

Son of Sherpa Tenzing, who climbed with Sir Edmund Hilary on the first ascent of Everest

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Adventure
- Asia
- Leadership
- Motivational
- Teamwork

「私の子供たちがする必要がないように、私はエベレストに登った」

Jamling Tenzing Norgayの父、Tenzing Norgayが息子にこれらの言葉話して以来Jamlingは彼の父の歴史的な足跡をたどることへの情熱にとらわれ、エベレストの凍った肌に踏み込み、教えるべき教訓を学びました。

Destinyは特定の人々のためにいくつかの物語を語ることを予約しています。イラスト付きのプレゼンテーションでは、ジャムリングは家族、山と人々、そしてほとんど乗り越えられないほどの障害に直面しているクライマーの人生を織り交ぜながら、深いエキサイティングな冒険を人生にもたらしめています。それは災害、勝利、プロ意識、そして人間の精神の回復力の物語です。

明らかに、エベレストを試みることを単純に決めるのは異常なレベルの願望を必要とします。そしてサミットに到達してベースキャンプに安全に戻るには、並外れた献身と忍耐力が必要です。エベレストでは、賭け金は高いです：それを試みる7人に1人だけの登山者が最高に達します。頂上にたどり着いた5人に1人は、しようとして死にます。

課題はほとんど圧倒的です。ベテランの登山者でさえも低酸素症（酸素欠乏、それに伴う強度の低下）、高度の病気、腸の病気、重度の体重減少、ホームシック、残酷な気象条件、難解なポーター、国際的な群れの激しい運動（11チームが混雑）1996年の山）、そして動いている氷河であるクンプ氷山に散らばっているアパートサイズの氷の塊に押しつぶされるなどの「客観的な危険」。

Jamlingがエベレストで見つけたように、私たちは個人的な勝利と家族の名誉以上のものを見つけます。この山を安全に登るには、リーダーシップ、計画、自信、献身、見習い、経験、判断、強さ、固執、忍耐力、プロ意識、チームワーク、尊敬、謙虚さがすべてバランスの取れた状態で必要です。これらの各属性についてJamlingは、チームの努力を促進するためにどのように使用されたか、安全性、成功、そして悲劇への対応にどのように貢献したかの例を示します。

願望と野心は不可欠ですが、山は希望と夢だけで登ることはできません。彼の講演では、それが成功するために本当に必要なことについて学び、そしてこの危険な山が私たちに教えなければならないいくつかの教訓を学びます。

ジャムリングはこれらのレッスンを自分で学ぶためにエベレストに登らなければならなかったことがわかりました。